

大阪府歯科保険医協会  
大阪府浪速区幸町1-2-33  
大発大電 (06)6568-7731(代表)  
http://osk-net.org/  
●定価・年間10,000円 月1,000円  
●1977年5月23日第三種郵便物認可

## 乳幼児医療費 助成対象年齢引き上げで要請 府・大阪市始め府下市町村へ

協会は乳幼児医療費助成制度・通院の対象年齢の引き上げを求めて、これまでに大阪府・大阪市・枚方市・茨木市・高槻市へ要請したのを始め、予算審議が行われる2・3月府下各市町村議会に対して働き掛けている。

同制度は本紙1月25日付既報の通り、府は全国でも最低ランクであることや、2歳や3歳では歯科では適用が少なく、市町村間で制度が異なっているため住む地域によってサービス内容に格差が生じていることなどから、対象年齢が①就学前に満たない自治体へは早急に就学前へ②就学前にならぬ自治体へは中学就学前まで――の引き上げなどを要請している。自治体首長への要請とともに議長に同趣旨の陳情をしている。

### 府議会全会派に懇談を要請

協会は2月7日、乳幼児医療費助成の拡充や府下の歯科検診事業、歯科訪問診療車の駐車禁止除外標準の発行など、歯科にかかわる問題を府議会議員に理解してもらおうと大阪府議会全会派に懇談を申し入れた。

懇談には、共産党府議団が応じ、宮原たけし同団長、健康福祉委員会担当

当の堀田文一、奥村健二両議員が同席した。宮原府議は乳幼児医療費助成制度について、「今の対象年齢を3歳未満から就学前まで引き上げた場合、必要な財源はたった15億円程度であり、同和事業に50億円を使っているのを見ても十分に実現は可能である。東京などが対象年齢を大きく引き上げている現状から、子どもの医療費助成として拡充に尽力したい」と話した。また協会からは、府下



インプラントの治療理念などを話す末松氏=2月24日、富田林市内

南河内地区 文化企画の方針 記念講演 病診連携

協会の南河内地区は総会を2月24日、富田林市内で開き、15人が参加した。

総会では、評議員として藤井佐都樹氏(松原)、大土努氏(松原)、新宅雅文氏(河内長野)、中村新太郎氏(富田林)を選出、地区責任者として藤井氏を選んだ。

藤井氏は「文化行事などを開催して地区の先生方の交流を深めたい。先方のご意見を協会に寄せて欲しい」と挨拶した。記念講演は、松原徳洲

乳幼児医療費助成制度(通院)の対象年齢引き上げを求める陳情書

貴職におかれましては、府民の健康増進のために日夜ご尽力をされていることに敬感を表します。わが国の人口を維持するのに必要な2.08を下回る1.2906まで低下し、2005年はさらに1.25に低下し、まさに危機的な水準に至っています。

少子化の進行は、子ども自身の健全な成長への影響のみならず、人口構造の高齢化や将来の生産年齢人口の減少など社会経済や社会保障のあり方にも重大な影響を及ぼすことが懸念されます。

少子化の一因には、働く女性が増えているにもかかわらず、働きながら安心して子どもを生み育てることのできる環境が、いまだに整っていないことがあります。

例えば、乳幼児をかかえる若い親にとって、家庭の医療費負担は大きなものとなっています。病気の早期発見・早期治療のためにも、子どもの心身の健全な発達を促すためにも、「いつでも、どこでも、医療費の心配なく安心して」医療を受けられるよう願ってやみません。

全国的には、47都道府県中の約半数にあたる23都道府県が就学前(6歳以上)まで通院助成の対象となっています。東京都は07年度に、小学1年生から中学3年生までの窓口負担を2割に引き下げ、若くは家庭の子育てを励ますために、下記の項目について改善・充実を図られますよう陳情いたします。

【陳情項目】  
1. 乳幼児医療費助成制度の通院対象年齢を早急に小学就学前へ引き上げてください  
2. 国に対して、国の制度として乳幼児医療費無料制度の創設を求める意見書を採択してください

各地区で総会開かれる 方針や予算、役員を決める

最後に伊津進弘理事長が、地区活動の活性化のために協力を呼びかけて閉会した。

記念講演は、松谷正俊税理士が「歯科医院における持続的発展の要件」をテーマに、高収入と低収入に二極化する歯科医院の現状を話した。松谷氏は、顧問先医院の経験に基づき独自のノウハウを説明し、なかでもスタッフ管理の重要性について強調した。

北河内地区 議員懇談会実施へ 記念講演 医院の持続発展要件

協会の北河内地区は、総会と記念講演を2月24日、大阪市内で開き、16人が参加した。

総会では、07年活動方針として、歯科健診や健康教室の定期的開催による地域医療への貢献、社保講習会や文化企画の開催を掲げ、16人の評議員と6人の副評議員を選出した。

摂食・嚥下の体験をする参加者 = 2月18日、M&Dホール

臨床学術学術部は歯科衛生士を対象とした教養セミナー「摂食嚥下障害の訓練と口腔ケア」を2月18日、M&Dホールで開き、51人が参加した。講師は山上恵美子氏(刀根山病院勤務・言語聴覚士)と小澤力氏(西成区開業)。

田上氏はビデオで画像を投影し、摂食・嚥下の過程を解説した。音声の変化や舌の動き、実際の食べ方を観察することによって、嚥下障害を発見することができると説明した。また、実際に参加者に障害者になったときの姿勢での飲食体験をさせながら、摂食嚥下の過程や発音と飲み込みによる舌の動きを述べ、舌・周囲の筋肉の重要性を強調した。

さらに同氏は、「摂食嚥下障害は窒息や誤嚥性肺炎といった生命の危機に直結する病態であるが、外からは分かりにくいことも多い。その病態や対処法・訓練法は様々であり、注意深い観察や評価が必要となる」と締め括られた。

小澤氏は、介護保険の用語やアセスメント表に記入する際の注意点などを解説した。聞き取りの方法については、項目をそのまま聞くだけでなく、聞き方によって本音が発見できることと問題点が発見できないこととを参加者からは、「摂食のために協力を呼びかけて閉会した。」



歯科業界全体の発展を考へるべきだと強調する松谷氏=2月24日、大阪市内

府庁包囲行動に250人 府民の要求を府議会に

2月府議会開会日の2月20日、大阪府はくらしと福祉を守れ、行財政プログラムを見直せと、大阪府民要求連絡会は「20府庁包囲行動・デモ」をし、250人が参加した。デモの後、「福祉・教育の切り捨て反対 府民と中小業者のくらし」をテーマに、高収入と低収入に二極化する歯科医院の現状を話した。松谷氏は、顧問先医院の経験に基づき独自のノウハウを説明し、なかでもスタッフ管理の重要性について強調した。

「最近の子供や若者は、学ぶことや働くことから積極的に逃避する」という内容の書が版を重ねている。

世の中には「勉強も学校も嫌いだった」と公言し、むしろそれを「売り」にビックリになっている有名人は多い。働かなくても資本的収入でリッチな人も多く、先進国では無職がセレブの一面を占めている。

「それを言ってしまうたらお終いだよ」とフリーテンの直さんのセリフみたいだが、親に食わせてもらって食事の嫌いだとか学費を出してもらって勉強が嫌いだとか言う子供は先進国病と診断できる。繁殖期の若者や家庭持ちが仕事を嫌いななんて、内心どう思っているも口に出せば「お終いだよ」。家賃も払わぬ気楽そつなホームレスの人連だつて多くは仕事が好きと言っている。

私より10も若くて、もう早や老後の夢を追求している定年退職者もいるが、大病から復帰して現役で激務をこなしている先輩も少なくない。励みの種は何処にでもある。

摂食・嚥下の体験をする参加者 = 2月18日、M&Dホール

臨床学術学術部は歯科衛生士を対象とした教養セミナー「摂食嚥下障害の訓練と口腔ケア」を2月18日、M&Dホールで開き、51人が参加した。講師は山上恵美子氏(刀根山病院勤務・言語聴覚士)と小澤力氏(西成区開業)。

田上氏はビデオで画像を投影し、摂食・嚥下の過程を解説した。音声の変化や舌の動き、実際の食べ方を観察することによって、嚥下障害を発見することができると説明した。また、実際に参加者に障害者になったときの姿勢での飲食体験をさせながら、摂食嚥下の過程や発音と飲み込みによる舌の動きを述べ、舌・周囲の筋肉の重要性を強調した。

さらに同氏は、「摂食嚥下障害は窒息や誤嚥性肺炎といった生命の危機に直結する病態であるが、外からは分かりにくいことも多い。その病態や対処法・訓練法は様々であり、注意深い観察や評価が必要となる」と締め括られた。

小澤氏は、介護保険の用語やアセスメント表に記入する際の注意点などを解説した。聞き取りの方法については、項目をそのまま聞くだけでなく、聞き方によって本音が発見できることと問題点が発見できないこととを参加者からは、「摂食のために協力を呼びかけて閉会した。」

歯界 「最近の子供や若者は、学ぶことや働くことから積極的に逃避する」という内容の書が版を重ねている。

世の中には「勉強も学校も嫌いだった」と公言し、むしろそれを「売り」にビックリになっている有名人は多い。働かなくても資本的収入でリッチな人も多く、先進国では無職がセレブの一面を占めている。

「それを言ってしまうたらお終いだよ」とフリーテンの直さんのセリフみたいだが、親に食わせてもらって食事の嫌いだとか学費を出してもらって勉強が嫌いだとか言う子供は先進国病と診断できる。繁殖期の若者や家庭持ちが仕事を嫌いななんて、内心どう思っているも口に出せば「お終いだよ」。家賃も払わぬ気楽そつなホームレスの人連だつて多くは仕事が好きと言っている。

私より10も若くて、もう早や老後の夢を追求している定年退職者もいるが、大病から復帰して現役で激務をこなしている先輩も少なくない。励みの種は何処にでもある。

第3回 日常診療経験交流会

【日時】 6月10日(日) 午前9時半～午後4時  
【会場】 三井アーバンホテル大阪ベイタワー (JR環状線・地下鉄「弁天町」駅すぐ)  
【内容】 午前 分科会・ポスターセッション  
午後 パネルディスカッションを予定



摂食・嚥下の体験をする参加者 = 2月18日、M&Dホール

摂食・嚥下の体験をする参加者 = 2月18日、M&Dホール

臨床学術学術部は歯科衛生士を対象とした教養セミナー「摂食嚥下障害の訓練と口腔ケア」を2月18日、M&Dホールで開き、51人が参加した。講師は山上恵美子氏(刀根山病院勤務・言語聴覚士)と小澤力氏(西成区開業)。

田上氏はビデオで画像を投影し、摂食・嚥下の過程を解説した。音声の変化や舌の動き、実際の食べ方を観察することによって、嚥下障害を発見することができると説明した。また、実際に参加者に障害者になったときの姿勢での飲食体験をさせながら、摂食嚥下の過程や発音と飲み込みによる舌の動きを述べ、舌・周囲の筋肉の重要性を強調した。

さらに同氏は、「摂食嚥下障害は窒息や誤嚥性肺炎といった生命の危機に直結する病態であるが、外からは分かりにくいことも多い。その病態や対処法・訓練法は様々であり、注意深い観察や評価が必要となる」と締め括られた。

小澤氏は、介護保険の用語やアセスメント表に記入する際の注意点などを解説した。聞き取りの方法については、項目をそのまま聞くだけでなく、聞き方によって本音が発見できることと問題点が発見できないこととを参加者からは、「摂食のために協力を呼びかけて閉会した。」

摂食嚥下障害について学ぶ 注意深い観察や評価が必要

臨床学術学術部は歯科衛生士を対象とした教養セミナー「摂食嚥下障害の訓練と口腔ケア」を2月18日、M&Dホールで開き、51人が参加した。講師は山上恵美子氏(刀根山病院勤務・言語聴覚士)と小澤力氏(西成区開業)。

田上氏はビデオで画像を投影し、摂食・嚥下の過程を解説した。音声の変化や舌の動き、実際の食べ方を観察することによって、嚥下障害を発見することができると説明した。また、実際に参加者に障害者になったときの姿勢での飲食体験をさせながら、摂食嚥下の過程や発音と飲み込みによる舌の動きを述べ、舌・周囲の筋肉の重要性を強調した。

さらに同氏は、「摂食嚥下障害は窒息や誤嚥性肺炎といった生命の危機に直結する病態であるが、外からは分かりにくいことも多い。その病態や対処法・訓練法は様々であり、注意深い観察や評価が必要となる」と締め括られた。

小澤氏は、介護保険の用語やアセスメント表に記入する際の注意点などを解説した。聞き取りの方法については、項目をそのまま聞くだけでなく、聞き方によって本音が発見できることと問題点が発見できないこととを参加者からは、「摂食のために協力を呼びかけて閉会した。」